

## 議会報告会報告書

開催日時	令和3年10月20日（水）午後6時 終了：午後7時30分
開催場所	金城大学 医療健康学部棟2階 大教室
対象団体	金城大学生徒（3、4年生）
参加人数	21人
出席議員	リーダー：小川義昭 谷健一、木谷和栄、池元勝、大屋潤一、宮岸美苗、寺越和洋
役割分担	司会：池元、開会・閉会挨拶：小川、議会説明：寺越 意見交換 A班：小川・谷、B班：宮岸・木谷、C班：寺越・大屋

（意見交換）

### 議会や議員に対するイメージ

- ・どちらかというときよくない。（A班）
- ・あまり関わることがないイメージ。（A班）
- ・何とも言えない。判断のしようがない。（A班）
- ・仕事の内容が分からない。（A班、C班）
- ・堅いイメージ。（B班、C班）
- ・もし若い人が議員になっていれば若い人たちからも身近な存在として期待ができるし、親しみもわく。（B班）
- ・年配者が多い（C班）
- ・市民のよりよい生活のため頑張っている。（C班）
- ・頑張っていると思うが、市民は分かっていない。議員の顔が思い浮かばない。（C班）

### 住み続けたいと思うまちづくり

- ・車がないと生活が不便。公共交通の充実したまちに住みたい。バス、電車の本数を増やしてほしい。（A班、B班、C班）
- ・生活に便利な施設が多くあるまち。（A班）
- ・まちを挙げてのイベントが多くあるとよい。（A班）
- ・めぐーるは土日に運行していないのであてにできない。（B班）
- ・学校の周りにはコンビニがないのでATMを利用できない。現金を持っていないと不便、不安だ。（B班）
- ・ご飯を食べたりできる食堂等がないので不都合だ。（B班）
- ・融雪道路が少なく冬場の移動が大変だ。幹線道路だけではなく融雪装置の設置を多くしてほしい。（B班）
- ・金沢では駐車場が少ないが、白山市は駐車場が無料で多い。（C班）
- ・地域の方と仲良くできるまちがよい。（C班）

### 若者（自分達）がまちづくり（政治）に興味を持つためには

- ・まちづくりのデモンストレーションをやってみては。（A班）

- ・もっと分かりやすい言葉を使ってほしい。(A班)
- ・自分が関係する分野があれば興味をもつのではないか。(A班)
- ・政治に興味を持っている人が少ない。無関心な若者が多い。(B班)
- ・現状に特に不満がないので地元を変えたいと思えない。(B班)
- ・意見が通らないとあきらめている部分がある。意見が反映されるといい。(C班)
- ・議員との交流の場があるとよい。(C班)

### **どうすれば(どうなれば)自分達は投票(選挙)に行くか**

- ・投票の模擬体験を試みるべき。(A班、C班)
- ・投票に行くと飲食店などで使えるクーポンを配布しては。(A班)
- ・投票所の雰囲気を変える。雰囲気が堅苦しい。(A班、C班)
- ・投票所のルールを分かりやすくする。(A班、C班)
- ・オンライン投票を可能にする。(A班、B班)
- ・どんな方が立候補しているのかわからない(興味がない)。新聞も購読していないかわからない。ネットも政治の欄は興味がないので見ていない。(B班)
- ・住民票の問題(住所は出身地)で投票に行きたくても行けない。(B班)
- ・新聞やネット等を活用して政治や選挙にもっと興味をもつことが大切だ。(B班)
- ・小さいころからの投票、選挙教育が大切。(C班)
- ・若者が身近に感じるような政策を訴えたらいいのでは。面白さがあればいい。(C班)
- ・近くに投票所があるとよい。(C班)